

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

全数報告の感染症（7週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 9 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：急性脳炎 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難、血痰
			90 歳代	女	肺結核	痰、呼吸困難
		都城	30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90 歳代	女	肺結核及び粟粒結核	症状なし
		延岡	90 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
		日向	30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	無症状病原体保有者	—
40 歳代	女		無症状病原体保有者	—		
5類	急性脳炎	宮崎市	50 歳代	男	インフルエンザウイルスA	発熱、項部硬直、意識障害
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	90 歳代	女	—	発熱、肺炎 ワクチン接種歴不明

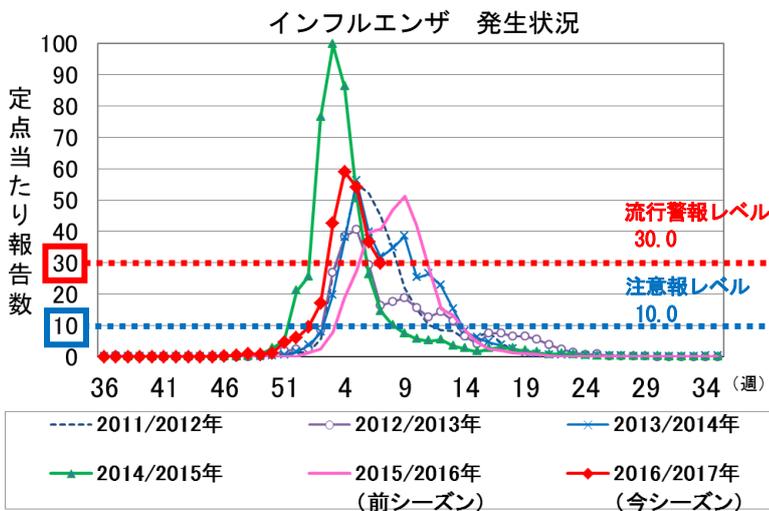
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,315 人（定点当たり 47.2）で、前週比 86%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

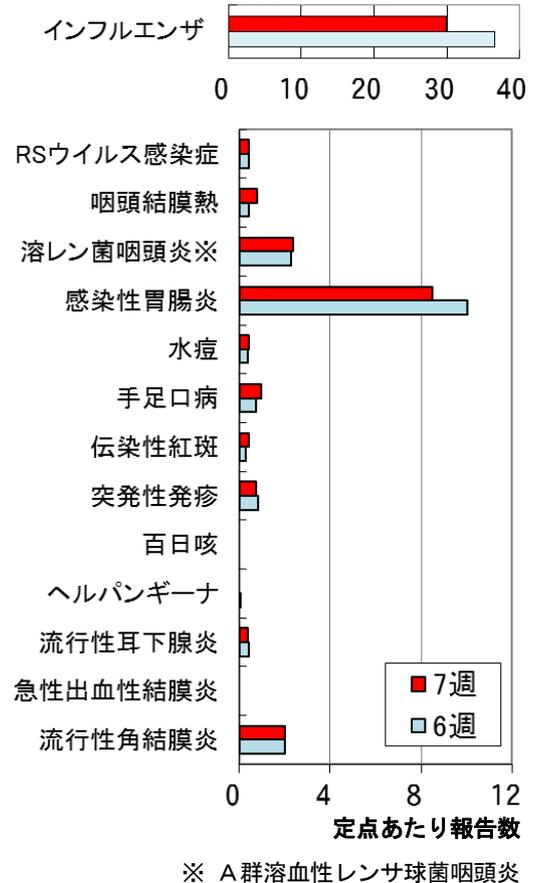
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 1,761 人(29.9)で、前週比 81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (31.9)の約 0.9 倍であった。延岡(44.0)、都城(38.4)、日南(37.2)保健所からの報告が多く、年齢別は 5~9 歳が全体の約 3 割を占めた。



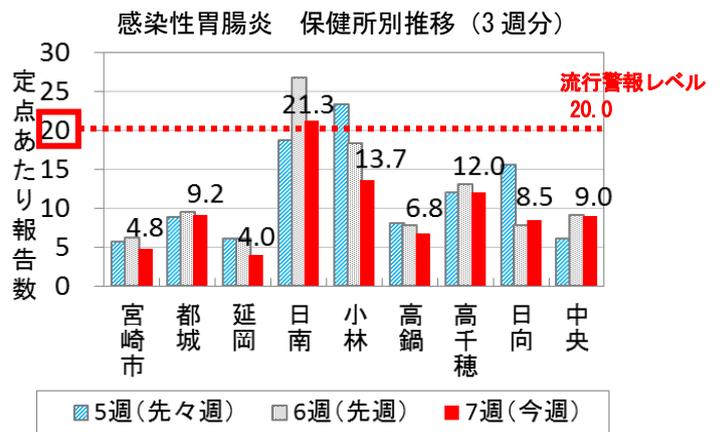
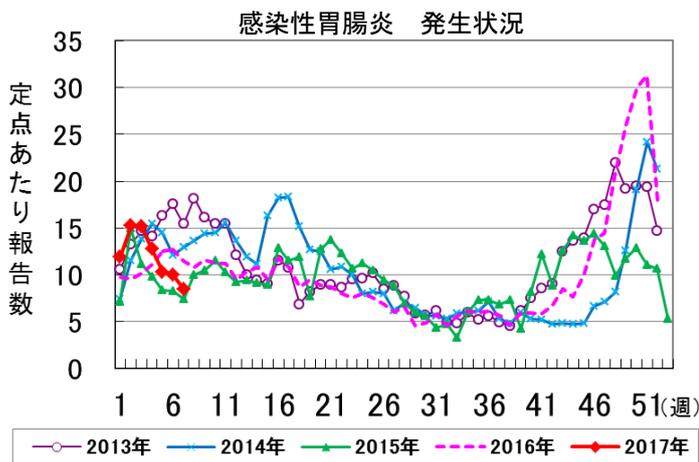
《前週との比較》



【感染性胃腸炎】

報告数は 306 人(8.5)で、前週比 85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (12.2)の約 0.7 倍であった。日南(21.3)、小林(13.7)、高千穂(12.0)保健所からの報告が多く、年齢別は別グラフに示す。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡及び高鍋保健所から各1例ずつ報告があった。
5～9歳と10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(28.9)
都城	インフルエンザ(38.4)
延岡	インフルエンザ(44.0)
日南	インフルエンザ(37.2)、咽頭結膜熱(4.3)、 感染性胃腸炎(21.3)
小林	インフルエンザ(24.0)
高鍋	インフルエンザ(20.3)
高千穂	インフルエンザ(17.5)
日向	インフルエンザ(12.7)
中央	インフルエンザ(34.0)

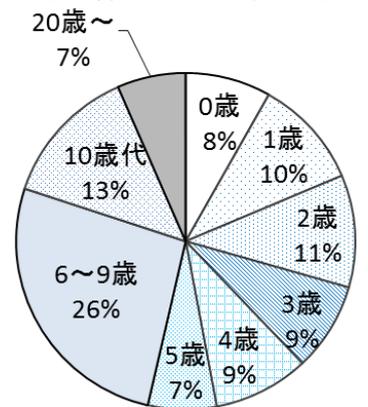
* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10.0)

感染性胃腸炎 年齢別割合



全国 2017 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 6 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	312 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	5 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	4 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	2 例	レジオネラ症	10 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	13 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘 (入院例)	2 例	梅毒	62 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	1 例	麻しん	12 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例				

麻しんの報告数は12例で前週比2.0倍と増加した。三重県(7例)、大阪府(2例)、山形県、愛知県、広島県(各1例)、九州地方からの報告はなかった。年齢別では30歳代が7例、0～4歳、20歳代から各2例ずつ、5～9歳から1例報告があった。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比78%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は141,666人(28.6)で前週比75%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(30.9)の約0.9倍であった。高知県(41.6)、福岡県(39.8)、大分県(38.6)からの報告が多く、年齢別では5～9歳が全体の約3割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第7週(2月13日～2月19日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2162	1761	462	384	308	186	120	122	35	76	68
	定点あたり	36.64	29.85	28.88	38.40	44.00	37.20	24.00	20.33	17.50	12.67	34.00
RSウイルス 感染症	報告数	16	16	8	2	3	2		1			
	定点あたり	0.44	0.44	0.80	0.33	0.75	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	16	29	8	4	3	13	1				
	定点あたり	0.44	0.81	0.80	0.67	0.75	4.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	83	86	32		3	19	12	15		3	2
	定点あたり	2.31	2.39	3.20	0.00	0.75	6.33	4.00	3.75	0.00	0.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	361	306	48	55	16	64	41	27	12	34	9
	定点あたり	10.03	8.50	4.80	9.17	4.00	21.33	13.67	6.75	12.00	8.50	9.00
水痘	報告数	14	16	1	3	4			3		5	
	定点あたり	0.39	0.44	0.10	0.50	1.00	0.00	0.00	0.75	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	27	35	18	7	1	1	3	2	1	2	
	定点あたり	0.75	0.97	1.80	1.17	0.25	0.33	1.00	0.50	1.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	11	15	7		3			1		4	
	定点あたり	0.31	0.42	0.70	0.00	0.75	0.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	30	26	10	5	3	3	1	1		2	1
	定点あたり	0.83	0.72	1.00	0.83	0.75	1.00	0.33	0.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	15	13	2		4			7			
	定点あたり	0.42	0.36	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	1.75	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	10	8	2							
	定点あたり	2.00	2.00	4.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	2			1			1			
	定点あたり	0.14	0.29	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～7週)

2類感染症	結核	37例(9)			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	5例	
5類感染症	急性脳炎	1例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症
5類感染症	梅毒	2例			7例(1)

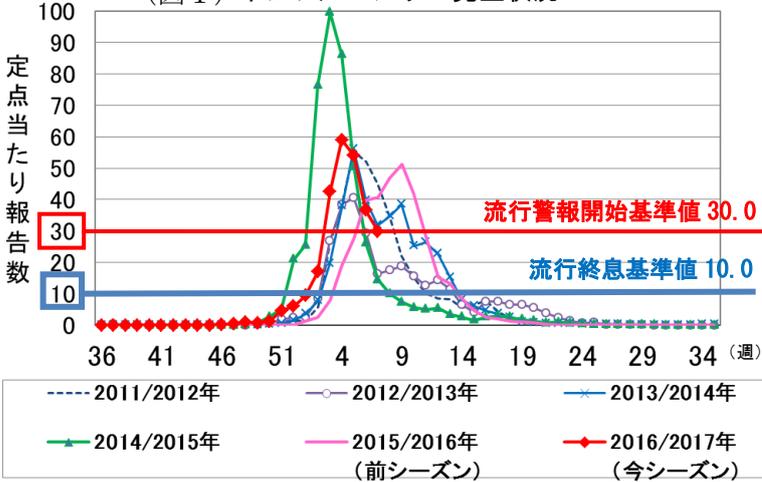
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

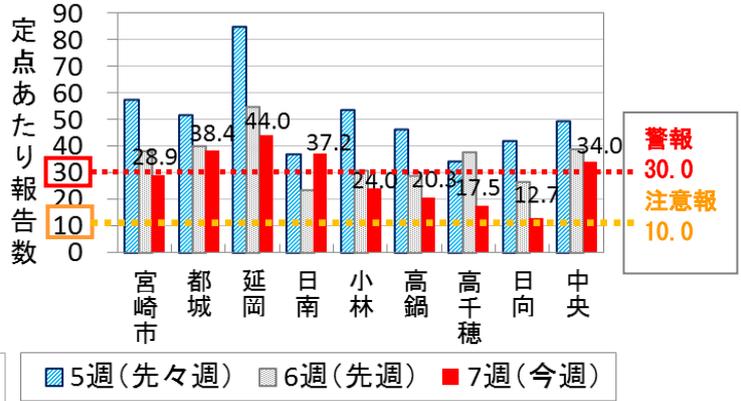
□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

2017年2月13日～2月19日までの1週間で1,761人（定点あたり29.9）の報告があった。前週の約0.8倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値*（31.9）の約0.9倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の25%、5-9歳が27%、10-14歳が15%、15-19歳が5%、20-59歳が19%、60歳以上が9%を占めた。（図3）

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

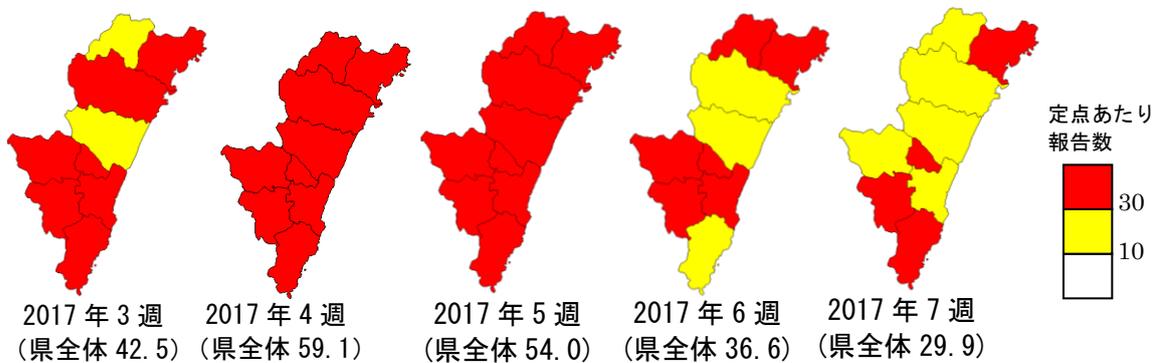


（図3）年齢群別割合の推移（2017年第3週～第7週）

週	2,509人	3,486人	3,187人	2,162人	1,761人	
3週	19%	28%	25%	9%	14%	5%
4週	19%	31%	24%	8%	13%	5%
5週	22%	28%	22%	6%	16%	6%
6週	26%	29%	17%	5%	16%	7%
7週	25%	27%	15%	5%	19%	9%

5歳未満
 5～9歳
 10～14歳
 15～19歳
 20～59歳
 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2017年第3週～第7週



□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2017年2月6日～2月12日までの1週間で141,666人（28.6）で前週比75%と減少した。高知県（41.6）、福岡県（39.8）、大分県（38.6）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が28%、10-14歳が18%、15-19歳が5%、20-59歳が21%、60歳以上が8%であった。